

あいちICT戦略プラン2020 年次レポート（2017年度版）

2017年11月



1	年次レポートの趣旨	1
2	主な実施状況	2
3	まとめ	14
4	有識者意見	16
	(参考) 取組を紹介した Web サイトの一覧	17

1 年次レポートの趣旨

愛知県では2016年（平成28年）3月に策定した「あいちICT戦略プラン2020」（以下「ICT戦略プラン」という。）において、本県が取り組むべき4つのテーマが抱える課題について、最新のICTの活用による課題解決を図るため、戦略的に施策を展開することとしており、この戦略的取組の前提となる「データ社会への対応」についても併せて整理することとしております。

年次レポートでは、計画の進行管理のために、4つのテーマとデータ社会への対応における主な取組を報告するとともに、今後の計画策定や計画を進める上での課題を確認していきます。

本書は、ICT戦略プランの最初の年次レポートになります。

《戦略の方向性のイメージ》



2 主な実施状況

「ICT戦略プラン」で掲げた展開する施策について、28年度に実施した主な取組の内容を報告します。

I 観光・交流拡大

ICT戦略プランの施策項目

項目	施策の展開
1-1 観光振興の推進	<ul style="list-style-type: none"> • Web サイト、SNSによる観光関連情報の充実 • 外国人旅行者の受入環境整備 等
1-2 スポーツ大会・映画等口 ケ誘致促進	<ul style="list-style-type: none"> • スポーツ大会・合宿等の誘致 • 大規模イベントの誘致・開催 等
1-3 情報発信力の強化	<ul style="list-style-type: none"> • 「ネットあいち」を始めとする、Web サイトの活用 • デジタルサイネージなど多様なメディアの活用

【1-1 観光振興の推進】

Web サイト、SNSによる観光関連情報の充実

- 「愛知の公式観光ガイド Aichi Now」の多言語化

(<https://www.aichi-now.jp/th/>)

(一社) 愛知県観光協会が運営する愛知県の公式観光情報サイト「愛知の公式観光ガイド Aichi Now」について、日本語、英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語に加えて、28年度には8月にタイ語のページを公開しました。これにより、訪日外国人旅行者数が急増しているタイに対する積極的な情報発信が向上可能となり、観光地としての愛知の認知度が向上しました。



○ 「モノスゴ愛知でマツケン」のWeb動画を制作

(<http://www.monosugo-aichi.jp/>)

愛知県出身の松平健氏を起用した観光PRキャンペーン「モノスゴ愛知でマツケン（待つ県）」のWeb動画を制作し、10月にYouTube公開の他、Web広告を展開しました。多くの方に視聴いただき、また幅広くマスメディアに取り上げられたことで、愛知の観光の認知度の向上と観光集客に寄与しました。



外国人旅行者の受入環境整備

○ 無料公衆無線LAN環境を整備

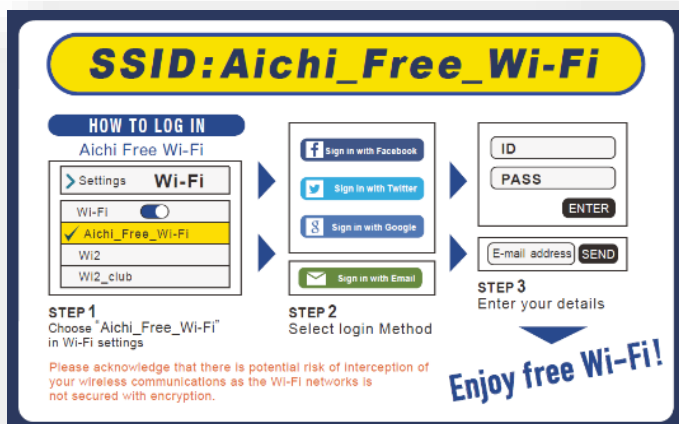
(<https://www.aichi-wifi.jp/>)

訪日外国人や観光客の誘引、地域の防災対策を図るため、28年度は県有施設5か所に無料公衆無線LAN環境（フリーWi-Fi）を整備しました。

- ・大高緑地
- ・小幡緑地
- ・牧野ヶ池緑地
- ・熱田神宮公園
- ・愛・地球博記念公園



28年度は、愛知県芸術文化センターでもあいちトリエンナーレ2016の開催に合わせて「Aichi Free Wi-Fi」の無料公衆無線LAN環境（フリーWi-Fi）を整備しました。また、愛知県陶磁美術館においても、無料公衆無線LAN環境（フリーWi-Fi）を整備し、海外からの観光客をはじめとした来館者へのサービスが向上しました。



【1-2 スポーツ大会・映画等ロケ誘致促進】

大規模イベントの誘致・開催

○ あいちトリエンナーレ 2016 の開催情報の発信

(<https://aichitriennale.jp/>)

公式Webサイト・SNS等を活用して、あいちトリエンナーレ 2016 の開催情報を発信しました。今回から Facebook での情報発信を行い、多くの「いいね！」をいただきました。あいちトリエンナーレ 2016 閉幕后も、アトラボあいちの情報を継続して配信し、今後は次回のあいちトリエンナーレ 2019 の開催情報等を発信していきます。



【1-3 情報発信力の強化】

デジタルサイネージなど多様なメディアの活用

○ 海外送金アプリにおける外国人県民向け地域情報の掲載

利用者の9割が日本に居住する外国人である(株)セブン銀行が運営する9言語対応の海外送金アプリに、県のイベント情報や生活情報、緊急時の災害情報など、外国人に必要な情報を多言語で発信する「愛知県の多文化共生の推進に関する協定」を、(株)セブン銀行との間で29年3月に締結しました。

アプリには、9言語に翻訳したイベントの基本情報（名称や日時、概要等）が掲載され、県の Web サイトへリンクが貼られており、外国人による県の情報へのアクセスがしやすくなりました。

Ⅱ 産業革新

ICT戦略プランの施策項目

項目	施策の展開
2-1 モノづくり産業の競争力の更なる進化	<ul style="list-style-type: none"> ・創業の支援、開発・立地の促進 ・モノづくり人材の育成 等
2-2 農林水産業の競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産技術の開発・普及 ・効率的な森林整備 等
2-3 ICTの新たなビジネスモデルの開発・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・IT産業の支援・創業支援 ・ICTスキルを持つ人材の育成
2-4 商業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街情報の発信強化

【2-1 モノづくり産業の競争力の更なる進化】

創業の支援、開発・立地の促進

○ 「起業家ビジネスプラン発表会」の開催

新規ビジネスの発掘や新しいビジネスパートナーとの連携を目的に、「あいち創業道場」の修了者の中から選抜された、優れた起業家のビジネスプランについて発表会を開催しました。

開催日	発表企業数	参加者数
平成29年1月26日	5社	55名

【2-2 農林水産業の競争力の強化】

効率的な森林整備

○ 獣害対策支援アプリ「やるシカない！」

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/shinrin-ringyo-c/deer-existence-app.html>)

シカによる農林業被害対策のためのWindows用アプリケーションである獣害対策支援アプリ「やるシカない！」を開発し、28年5月に公表しました。

このアプリには、以下の3つの機能があります。

1. どの地域にシカが多いか5kmメッシュ単位でわかる（密度マップ）
2. 地域内のどこにシカが出やすいか250mメッシュ単位でわかる（ハザードマップ）
3. シカや被害を見かけたら報告できる（アンケート）

シカ柵設置、捕獲、今後の被害予防、さらには交通事故対策等に活用できます。



28年度ダウンロード数：82（H29.5末時点）

【2-3 ICTの新たなビジネスモデルの開発・人材育成】

ICTスキルを持つ人材の育成

○ 愛知県IoT推進ラボ

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/jisedai/iot-lab.html>)

愛知県の取組が「地方版IoT推進ラボ」に選定されました。愛知県IoT推進ラボでは、愛知県内において、IoTの活用促進を図るため、これまで県が推進してきている自動車、ロボット、健康長寿などの産業分野を中心に、企業のIoTの活用を支援します。

28年度には、愛知県IoT推進アドバイザーボードや、愛知県IoT推進ラボ記念講演会を開催しました。

愛知県IoT推進ラボ

- プロジェクト案件の発掘
- 新たなプロジェクトの組成
- プロジェクトのサポート
- 相談・マッチングの支援
- 実証実験の支援
- 企業等への情報提供
- 愛知県IoT推進ラボPR

愛知県IoT推進アドバイザーボード

- 愛知県IoT推進ラボの取組内容の検討
- 各プロジェクトに対する助言
- IoT Lab Selection への推薦

事務局：愛知県産業労働部次世代産業室

IoT推進ラボ

【2-4 商業の活性化】

商店街情報の発信強化

○ 活性化モデル商店街の成功事例

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/shogyo/machi-plan2802.html>)

24年度から26年度までに指定した「活性化モデル商店街」事業評価を行い、類似環境にある商店街に広く活用されることを目的に14の活性化成功事例をWebページで公表しました。

○ 活性化モデル商店街の指定

28年度は「活性化モデル商店街」として、新たに12市町16プランを指定しました。

指定した商店街の事業について、「げんき商店街推進事業費補助金」により優先的に複数年継続して支援を行います。



Ⅲ 暮らし安心・安全

ICT戦略プランの施策項目

項目	施策の展開
3-1 災害や犯罪に負けないまちづくり	・災害時における情報伝達 ・ネット犯罪対策 等
3-2 ITS・交通対策の推進	・ITS等の研究支援・普及・拡大
3-3 健康長寿あいちの実現	・在宅医療連携システムの構築 ・「食育」の推進 等
3-4 女性の活躍促進・子育て支援	・女性の活躍促進 ・結婚・子育て支援 等
3-5 学ぶ楽しさ・生涯学習の実現	・魅力ある授業の実施 ・Web サイトを通じた学校・図書館・生涯学習情報の提供 等
3-6 「環境首都あいち」の実現	・ゼロカーボンライフへの挑戦 ・エコアクションの促進 等

【3-1 災害や犯罪に負けないまちづくり】

災害時における情報伝達

○ 移動通信用鉄塔施設整備

28年度は、市町村が行う移動通信用鉄塔の整備に対して補助をし、新城市内の2地区（門谷区、一色区）における携帯電話の不感地域が解消されました。

○ ヘリコプターテレビ電送システムの更新

災害情報の収集体制を確保するため、防災ヘリコプターが送信する映像情報を県災害対策本部や耐震通信局等でリアルタイムに受像できるヘリコプターテレビ電送システムを、防災ヘリコプターの更新に合わせてデジタル化に対応できるよう、28年度に更新しました。

これにより、高精度・高解像度の画像で現地の状況を確認することができるようになり、詳細な被災地状況を把握することができるようになりました。



ネット犯罪対策

○ 中小事業者への情報セキュリティ対策の支援

中小事業者の多くが所属している、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知県中小企業団体中央会などの団体をはじめとして、中小事業者を支援する立場にあり中小事業者と関係の深い団体とネットワークを構築して、情報共有を図り、中小事業者の情報セキュリティ対策を支援することで、サイバー空間の脅威の低減を図る取組を推進していきます。

28年度は、中小事業者情報セキュリティ対策支援ネットワーク情報交換会を1回開催しました。

【3-2 I T S ・ 交通対策の推進】

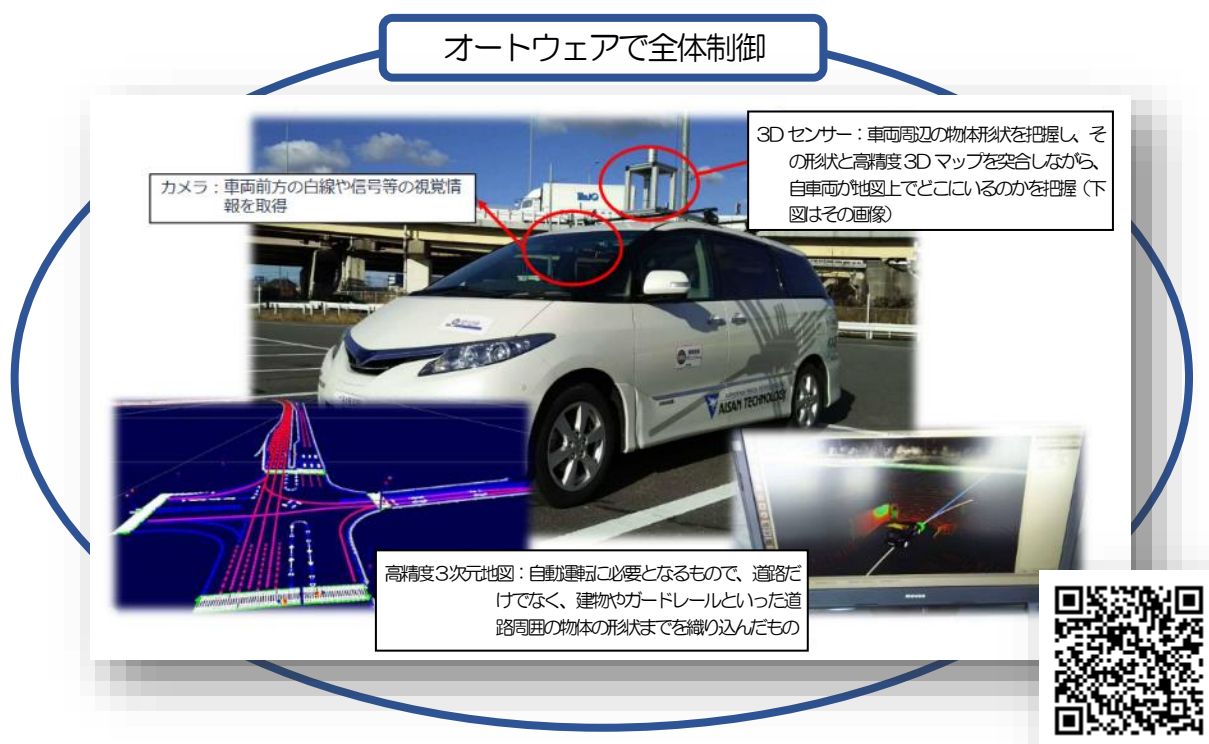
I T S等の研究支援・普及・拡大

○ 自動運転の実証実験

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyoshinko/h28seikahoukoku.html>)

28年度は、幸田町を始めとした県内15か所の実証エリアにおいて、高精度3Dマップを作成し、新たなサービスの創出や様々な交通課題の解決に寄与することが期待される自動運転の実証実験を実施しました。【総延長約41 km、総実走距離約2,800 km】

このうち、中山間地や離島等の交通不便地であること、移動手段の確保が求められる高齢化が顕著な地域であることといった観点から選定した南知多町の日間賀島を始めとした4か所においては、無人タクシーを疑似体験できるアプリケーションを活用して、県民119人を対象として無人タクシーなどのニーズ、社会的受容性についてモニター調査を実施したところ、事故に対する心配はあるものの、概ね高評価でした。



【3-3 健康長寿あいちの実現】

「食育」の推進

- 食育ネットあいち

(<http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>)

健全な食生活を実践するためのお役立ち情報（栄養と健康、生活習慣病の予防、食の安全・安心、食育体験、郷土料理と食文化、地産地消など）が満載の「食育ネットあいち」において、食育に関するイベント情報等を随時発信しており、食育への関心の向上や、イベント参加者の増加につながっています。



28年度アクセス数：274,186

【3-4 女性の活躍促進・子育て支援】

結婚・子育て支援

- あいち はぐみんネット

(<http://www.pref.aichi.jp/kosodate/hagumin/>)

よりよい子育て環境を作っていくための子育て応援総合情報サイト「あいち はぐみんネット」において、県内で開催される子育てに関するイベント等の情報を随時発信しており、子育てに関する問題解消や、イベント参加者の増加につながっています。



28年度アクセス数：185,298

【3-5 学ぶ楽しさ・生涯学習の実現】

Web サイトを通じた学校・図書館・生涯学習情報の提供

- 貴重和本デジタルライブラリー

(<https://websv.aichi-pref-library.jp/wahon/>)

愛知県図書館が所蔵する貴重な和本を電子画像で提供する「貴重和本デジタルライブラリー」に、28年度は76冊（20タイトル）を追加し、年度末時点で562冊（163タイトル）を掲載しています。



28年度アクセス数：28,227

【3-6 「環境首都あいち」の実現】

エコアクションの促進

- エコリンクあいち

(<http://aichi-eco.com/>)

愛知万博やCOP10を通じて根付いてきた環境意識を、環境への負荷を減らす身近な行動「エコアクション」へとつなげるため、Webサイト「エコリンクあいち」において気軽にエコアクションを学び実践へとつなげることをサポートしています。



28年度アクセス数：34,009

Ⅳ ICT基盤強化

ICT戦略プランの施策項目

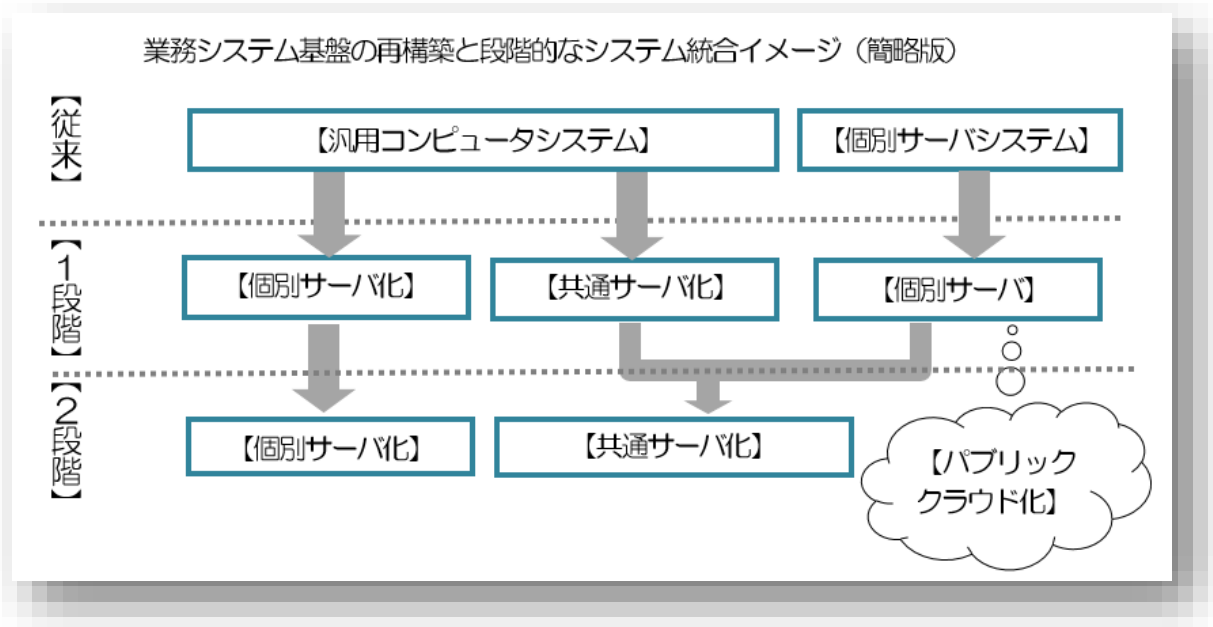
項目	施策の展開
4-1 自治体クラウドの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内クラウド ・ 市町村におけるクラウド導入の支援
4-2 マイナンバー制度への対応、活用による業務プロセス改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイナンバー制度への対応 ・ 業務プロセス改善
4-3 情報システムの活用拡大、調達最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報システムの活用・更新 ・ 情報システムの適正調達の推進

【4-1 自治体クラウドの推進】

庁内クラウド

○ 庁内クラウドへの移行

IT経費の削減、情報システムの安定的な稼働及び効率化を目的とし、汎用コンピュータに換わる業務システム基盤として共通サーバシステム（庁内クラウド）を26年4月から稼働しています。28年度は7システムを移行し、28年度末時点で44システムを庁内クラウド上で運用しています。庁内クラウドへのシステム移行により、各課で行う業務のシステム運用経費の削減につながりました。



市町村におけるクラウド導入の支援

○ 自治体クラウド導入支援

28年度は、総務省の自治体クラウド専門家に講師を依頼し、県内市町村を対象とした自治体クラウドの現状についての講演会を開催しました。

また、導入経費に対する国の地方財政措置について、県内市町村へ情報提供し、共有を行いました。



【4-2 マイナンバー制度への対応、活用による業務プロセス改善】

マイナンバー制度への対応

○ ネットワーク分離によるセキュリティ強化

28年度には、強固なセキュリティ確保が求められるマイナンバーを取り扱う個人番号利用事務について、既存の行政のネットワークと分離して、新たに別ネットワークとして「個人番号利用事務ネットワーク」を構築するとともに、端末についても二要素認証を始めたとしたセキュリティ対策を強化した個人番号利用事務専用パソコンを配備しました。

これにより、29年度から始まるマイナンバーの情報連携等の各種取組の安全な基盤ができました。

【4-3 情報システムの活用拡大、調達最適化】

情報システムの活用・更新

○ タブレット端末による環境情報システム利用

環境行政分野において、環境情報システムで管理する事業場の届出情報を立入検査等の現場で閲覧できるように、28年度にタブレット端末を25台導入しました。また、立入検査等の現場で撮影した静止画及び動画を、所属に配置されている別のタブレット端末で情報共有ができるようにし、業務の効率化を図りました。



V データ社会への対応

ICT戦略プランの施策項目

項目	施策の展開
5-1 オープンデータの推進	・オープンデータの推進
5-2 ビッグデータの活用	・ビッグデータの活用
5-3 IoTへの対応	・IoTへの対応

【5-1 オープンデータの推進】

オープンデータの推進

○ オープンデータカタログの充実

(<http://www.pref.aichi.jp/life/7/>)

国の「地方公共団体オープンデータ推進ガイドライン」(平成27年2月公表)を踏まえ、27年度にWeb作成支援システム(Webページを作成・公開するシステム)を更改し、所属で保有しているデータをオープンデータとして公開する際に、職員が容易に操作を行えるよう改修を行いました。

28年度には、保有するデータをオープンデータとして公開するために必要な事項を定めた「愛知県オープンデータカタログサイト運用ガイドライン」を作成し、庁内のオープンデータ化を促しました。28年度末時点での公開ジャンル数は10件増えて、40件に、公開データ数は87件増えて、505件となりました。今後も公開データ数の増加を図っていきます。



また、県と県内市町村(名古屋市を除く)で設立した「あいち電子自治体推進協議会」が29年3月に開設した、愛知県と県内市町村が提供するオープンデータの5分野9項目を一覧で見ることができ、各自治体のオープンデータのページに遷移できるようになっている「あいち電子自治体推進協議会オープンデータカタログ(試行版)」(<http://www.e-aichi.jp/opendata.html>)と相互リンクを設定しています。相互リンクにより、県と県内市町村のオープンデータの利便性の向上が図られました。



【5-2 ビッグデータの活用】

ビッグデータの活用

- Wi-Fi インフラを活用した訪日外国人の行動分析を実施

訪日外国人向けに提供されているWi-Fi インフラを活用して、28年1月から12月までの1年間において、愛知県内のWi-Fi アクセスポイントに接続履歴がある訪日外国人を対象に、利用者属性や行動経路などの情報を取得し、そのデータを分析することで、訪日外国人の動線や滞在場所、滞在時間等を把握しました。分析結果は市町村等にも提供し、観光客誘客に活用していきます。

愛知県全域における滞在者の分析 - 国籍別・滞在時間別 -

国籍	3-6	6-9	9-12	12-24	24-48	48-	合計
アメリカ合衆国	355	125	97	463	331	190	1,561
韓国	43	23	11	68	38	24	207
台湾	224	118	102	600	409	230	1,683
中国	142	73	64	453	237	83	1,052
タイ	236	126	103	451	258	87	1,261
香港	97	49	52	465	284	151	1,098
オーストラリア	134	46	22	175	135	105	617
イギリス	107	39	16	154	133	86	535
シンガポール	105	38	31	183	132	74	563
マレーシア	104	39	26	208	128	65	570
その他	317	131	83	466	363	238	1,598
全体	1,956	832	631	3,845	2,575	1,400	11,239

愛知県訪問者の入国・出国の動態（台湾）

■入国（中部国際空港 ⇒ 名古屋市）



Rank	都道府県	市区町村	滞在人数 (人)	平均滞在時間 (時間)
START	愛知県	常滑市	603	3.56
GOAL	愛知県	名古屋市	603	25.65
1	岐阜県	高山市	17	12.14
2	岐阜県	大野郡白川村	17	8.34
3	石川県	金沢市	15	16.25
4	長野県	松本市	13	13.84
5	富山県	中新川郡立山町	11	5.09
6	岐阜県	郡上市	10	8.53

中部国際空港から入国して、名古屋市に至るまでの間に1時間以上滞在した都市（10人未満を除く）

「Wi-Fi インフラを活用した訪日外国人の行動分析等 報告書」から抜粋

【5-3 IOTへの対応】

IOTへの対応

- 愛知県IoT推進ラボ（再掲）

3 まとめ

第2章は28年度中に実施した主な取組について報告しました。本章では「あいちICT戦略プラン2020」全体の総括を行います。

(1) 総括

ICT戦略プランでは、4つのテーマとデータ社会への対応として、136項目の施策展開の方向性を設定しています。それぞれの項目ごとに進捗状況の評価と対象施策を下の表にまとめました。

136項目のうち、課題のあるものが2項目あったものの、大半の項目(131項目)は順調に進展しており、3つの項目で事業は終了し、新規の施策展開も4つありました。

※評価は、「進」＝継続して進展、「完」＝取組完了・終了、「課」＝課題有り、「新」＝新規の取組の項目数を表します。

テーマ	評価		対象施策
Ⅰ 観光・交流拡大	進	32	無料公衆無線LAN環境を整備 等
	完	2	第31回国民文化祭・あいち2016、第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会は2016年で終了
	新	1	海外送金アプリにおける外国人県民向け地域情報の掲載
Ⅱ 産業革新	進	27	獣害対策支援アプリ、愛知県IoT推進ラボ 等
	課	1	ビッグデータ等を分析・解析・活用できるICT人材の育成支援
Ⅲ 暮らし安心・安全	進	50	中小事業者への情報セキュリティ対策の支援 等
	完	1	ヘリコプターテレビ伝送システム等更新
Ⅳ ICT基盤強化	進	18	庁内クラウドへの移行、自治体クラウド導入支援 等
	新	2	ネットワーク分離によるセキュリティ強化 立ち入り検査時でのタブレットを活用したデータ閲覧・共有
Ⅴ データ社会への対応	進	4	オープンデータカタログの充実 等
	課	1	データの利用しやすい環境づくり
	新	1	Wi-Fiインフラを活用した訪日外国人の行動分析
合計			進展131項目、完了3項目、課題有2項目、新規4項目

「継続して進展」とした131項目の施策については、他のプランや計画等で位置付けた目標や指標に向かって、着実に推進しているものと考えられます。

28年度は、「第31回国民文化祭・あいち2016」の開催情報発信等3つの事業で「取組完了」となりました。このうち、「第31回国民文化祭・あいち2016」、「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」では、WebサイトやSNSを通じて大会の開催情報の発信に取り組んだ結果、「第31回国民文化祭・あいち2016」では、来場者数357,708名、出演者、出展(品)者及び関連事業の来場者を合わせた総参加者906,894名を記録し、文化活動に対する参加意欲の喚起、愛知の文化の再認識・再発見、地域の伝統文化を次代に継承する意識の醸成など、様々な成果を残すことができました。

また、「第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」においても、来場者数59,062名を記

録し、障害のある方の社会参加の促進や芸術活動のすそ野の拡大、障害への理解の促進につながりました。

同じく28年度に閉幕した「あいちトリエンナーレ2016」においても、情報発信事業に取り組んだ結果、来場者数601,635名、開催による経済波及効果は約63.3億円と試算されており、こうした取組は、「あいちトリエンナーレ2019」の開催に向けて、引き続き進めていきます。

「課題有り」とした施策の2つは、いずれもビッグデータの活用に関する取組です。

このうち、「ビッグデータ等を活用できるICT人材の育成支援」については、29年4月に国立大学法人名古屋大学に新たに情報学部が設置されるなど、地域のICT人材の厚みも増す動きもありますが、地域におけるICT人材の確保、支援に向けては取り組むべき課題が残されています。

28年12月に制定された「官民データ活用推進基本法」（以下「基本法」という。）では、このICT人材の確保、支援について、国が施策を講ずるとしており、地域を越えた課題でもありますので、引き続き、国の動向を踏まえながら検討を行っていきます。

また、同様に「データの利用しやすい環境づくり」も「課題有り」としました。官民データの有効活用を目指す「基本法」が制定され、国の基本計画が定まり、今後は各都道府県においても、推進計画の策定が進められていきますので、こうした動向等も踏まえながら検討を進めていきます。

（2）29年度以降の展開

ICT戦略プラン策定以降、ICT技術の進展や社会経済状況の変化、新たな政策課題の顕在化など、ICT戦略プラン策定時とは異なる状況も出てきていることから、29年度以降の展開については、以下に述べる幾つかの点に留意して取組を進めていく必要があります。

28年12月14日に、官民データの適正かつ効果的な活用の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進する目的で、「基本法」が公布・施行されました。

基本法第5条では、「地方公共団体は、基本理念にのっとり、官民データ活用の推進に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の経済的条件等に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」とされており、都道府県においても官民データの活用を推進していく必要があります。

国は、29年5月に、基本法第8条に基づき、国の基本的な計画「官民データ活用推進基本計画（以下「国基本計画」という。）」を策定し、今後、29年度秋までに基本法第9条により策定が義務付けされた「都道府県官民データ活用推進計画（以下「県推進計画」という。）」のひな形の策定や、説明会の開催を行うことになっています。県では、それを踏まえて県推進計画を策定することになりますが、国基本計画によると、県推進計画のひな形には、「行政手続きの電子化推進」「オープンデータ推進」「自治体クラウド推進」といったICT戦略プランに位置付けた項目なども含まれる予定です。

今後、県推進計画策定の進展に合わせて、ICT戦略プランの見直しも必要となる可能性があります。

また、総務省ではIoT等の本格的な実用化の時代を迎え、これまでの実証等の成果の横展開を強力、かつ、迅速に推進するため、平成28年9月から「地域IoT実装推進タスクフォース」を開催し、28年12月に、「地域IoT実装推進ロードマップ」が取りまとめられました。さらに29年5月には、「地域IoT実装推進ロードマップ（改定）」が取りまとめられ、新たに「官民協働サービス」や「地域IoT人材の育成・活用」等が追加されました。

IoT、ビッグデータ、AI等は、地域の住民・行政・企業のデータ利活用による住民サービスの充実、地域における新たなビジネス・雇用の創出等のメリットを実現し、地域の課題解決を図るための効率的・効果的なツールとして強く期待されています。

このため、県では、各種会議において、総務省の担当者が地域IoT実装推進に向けた各種施策を説明する場を設けて必要な情報提供を行うなど、地域IoTの実現に向け、市町村を支援しているところです。さらに今後、ICT戦略プランの推進に当たって、「地域IoT実装推進ロードマップ（改定）」も念頭において進める必要があることから、動向を注視していきます。

マイナンバー制度については、情報連携に向けて、セキュリティ対策を含めた基盤整備を行ってきたところですが、29年7月に情報連携の試行運用が始まり、マイナポータルも試行運用が始まっています。現在、マイナンバーカードを使って、マイナポータルで官民のオンラインサービスをワンストップで利用可能にする取組の一つである「子育てワンストップサービス」の実現にむけて、マイナポータルと電子申請を連携させるため、県と県内市町村が共同で運用するあいち電子申請・届出システムの機能追加（システム改修）に取り組んでいます。

また、マイナンバーカードが1枚あれば、様々な利用者カードとして活用でき、クレジットカードなどのポイントやマイレージを商店街での買物やオンラインでの地域の産物購入などに活用できるようにするためのシステムとして国が整備する「マイキープラットフォーム」について、29年9月から国の実証事業が開始されています。

県としては、マイナンバーカードやマイキープラットフォームを活用して利用者視点の業務改善を進める市町村等の支援を行っていきます。

4 有識者意見

年次レポートの取りまとめに当たり、平成29年7月26日に開催されたあいちICT活用推進本部有識者会議で、今後のオープンデータの取組及び都道府県官民データ活用推進計画の策定に関して、次のような意見をいただきました。

- オープンデータとして提供するデータは、利用者が活用しやすい形式で提供してほしい。
- 官が持っているデータはオープンにするのが原則であるという認識の下でオープン化に取り組んでほしい。
- 計画策定に当たっては、愛知県のオリジナリティ（愛知らしさ）を大事にしてほしい。

(参考) 取組を紹介した Web サイトの一覧

◆愛知の公式観光ガイド Aichi Now (タイ語ページ)

<https://www.aichi-now.jp/th/>
あいちをもっと楽しく！旬のあいち旅

◆モノスゴ愛知でマツケン

<http://www.monosugo-aichi.jp/>
知られざる魅力がいっぱいの愛知。これを見ればあなたも「愛知通」に。

◆Aichi Free Wi-Fi

<https://www.aichi-wifi.jp/>
Aichi Free Wi-Fi とは、店舗や商店街、宿泊施設や観光施設などへの無料公衆無線 LAN の整備促進を図り、無料公衆無線 LAN サービスが提供されている施設における Aichi Free Wi-Fi シンボルマークの掲出や、Aichi Free Wi-Fi 専用ポータルサイトでの Wi-Fi マップによるアクセスポイント情報等を発信している無料公衆無線 LAN をいいます。

◆あいちトリエンナーレ

<https://aichitriennale.jp/>
あいちトリエンナーレは、愛知県で 3 年に 1 度開催される国内最大級の現代アートの祭典です。

◆獣害対策支援アプリ「やるシカない！」

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/shinrin-ringyo-c/deer-existence-app.html>
「やるシカない！」はシカによる獣害対策のための無料アプリケーションです。

◆愛知県 I o T 推進ラボについて

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/jisedai/iot-lab.html>
愛知県内において、I o T の活用促進を図るため、これまで県が推進してきている自動車、ロボット、健康長寿などの産業分野を中心に、企業の I o T の活用を支援します。

◆活性化モデル商店街の成功事例について

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/shogyo/machi-plan2802.html>
24 年度から 26 年度までに指定した「活性化モデル商店街」の成功事例を掲載しています。

◆平成 28 年度自動走行実証推進事業の結果

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyoshinko/h28seikahoukoku.html>
平成 28 年度自動走行実証推進事業の結果報告書の概要版を掲載しています。

◆食育ネットあいち

<http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>

愛知県の食育ポータルサイト。食育イベント情報の紹介を始め、健全な食生活を実践するためのお役立ち情報（栄養と健康、生活習慣病の予防、食の安全・安心、食育体験、郷土料理と食文化、地産地消など）が満載です。

◆あいち はぐみんネット

<http://www.pref.aichi.jp/kosodate/hagumin/>

愛知で生む、育てる、育む。愛知県の子育てポータルサイト。

◆貴重和本デジタルライブラリー

<https://websv.aichi-pref-library.jp/wahon/>

愛知県図書館が所蔵する近世及び近代初期の貴重和本を電子画像にて提供するものです。

◆エコリンクあいち

<http://aichi-eco.com/>

愛知万博やCOP10を通じて根付いてきた環境意識を、環境への負荷を減らす身近な行動「エコアクション」へとつなげるため、気軽にエコアクションを学び実践へとつなげることをサポートします。

◆愛知県オープンデータカタログ

<http://www.pref.aichi.jp/life/7/>

愛知県が所管する情報の提供サービスを行っています。

◆あいち電子自治体推進協議会オープンデータカタログ（試行版）

<http://www.e-aichi.jp/opendata.html>

愛知県と県内市町村がオープンデータとして提供しているデータのまとめサイトです。

◆あいちICT戦略プラン2020

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/plan2020-1.html>

愛知県の情報通信技術の総合指針。